

花の生活

ゆずらしく

花のバツフレットが来た

見のどけの花のふ知うせで平い

あせうえのその時々^の銚子^のいのばいの

花が来る

これはいい 久しぶり^の花達^は動^す

毎月来るとして

早く来てほしい

さうそく注文しなうと 夕おねをかきて

ふんど欠くと 花は三月は もうと

かいてある

毎月来るとして

たごころ

部屋

いづけいにはなう なく竹が来る

まゆ甲の花はわう 社と去せ有いしニわかり

寒く返ると 社ではあぐかねてしきり

ゆ花はうたう ちんちかがりそりだん

それはこの本はのうてあ

ドライトラリ だうたう この本は行くても

花やまへへ行けばあり

花はしさいはいろく 考えぬか これも無難

た そり廻にふうす中ても 今何加温器か

がらばつてい

昔の花いつばいのき流は 平心なを貝

しかたの

春まつたは本無理だ

もう花いつばいの日々は ちどつて柔かい

柔年も次の年も その後に見るべきは

残念

こころは十年あきり 花雪しの日々を送る来た

今は十二月まで 朝木おとゆりの

つぼみのうらみ 貝云のたね

それをもいつか咲いてくれ

花は花だ

人さ 身もうめもたけ

2021
1/4